

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第1364号	氏名	小牧 博也
学位審査委員	主 査 鮎瀬卓郎 副 査 吉村篤利 副 査 渡邊郁哉		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究の目的はパワーアームを用いたスライディングメカニクスの長期的な歯の移動のシミュレーションを行い、舌側ブラケットと唇側ブラケットの歯の移動動態の違いを明らかにすることである。有限要素解析により、今まで明らかにされていない長期的な歯の移動における舌側ブラケットの生体力学的特性の解明を目指しており、当該研究分野での先駆的研究となる。</p> <p>2 研究手法に関する評価 初期変位解析ではなく長期解析を行うことで、歯科矯正臨床における抜歯空隙閉鎖に伴う歯牙移動を正確に再現されており、経時的な歯列形態の変化が可視化されている。また、複雑な歯の三次元的な移動動態が、抵抗中心の変位と回転で定量化し、簡素化されており、その手法は科学的見地から適切である。</p> <p>3 解析・考察の評価 舌側ブラケットと唇側ブラケットのパワーアームによる前歯部のトルクコントロールの違いが明らかになった。また、臼歯部の捻転方向の違いが歯列形態や抜歯空隙閉鎖期間に影響を与えることが示された。本研究で得られた知見は、舌側ブラケットによる治療の効率化と治療結果の向上に大いに寄与するものである。</p> <p>以上のように本論文は矯正臨床の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと